

川井浩史：ランドルフ・テイラー先生を悼む

Hiroshi Kawai: To the memory of the late Professor W.R Taylor



ウィリアム・ランドルフ・テイラー (William Randolph Taylor) 先生が1990年11月11日に合衆国ミシガン州アンアーバーの御自宅で亡くなられた。享年94才であった。テイラー先生は米国を代表する藻類学者の一人であり、1972年の札幌での第7回国際海藻学会議の折りには来日しておられる。

テイラー先生は1895年12月21日合衆国フィラデルフィアのお生まれで、ペンシルバニア大学で学ばれ、1920年に植物学で Ph. D を得られた。その後1927年から1930年まで同大学で教鞭をとられた後、1930年からミシガン州立大学の植物学科の教授となられ、同大学標本室の藻類部門のキュレーターも兼任された。1966年に退官され名誉教授となられたが、その後も亡くなられる数年前まで精力的な研究も続けられた。先生の御研究は1920年代にはおもにブリティッシュコロンビアの山岳地帯やメキシコ湾のトルトゥガ島の乾燥地帯の植物相に関するものであった。ついでアラン・ハンコック (Allan Hancock) をスポンサーとするカリブ海、メキシコ太平洋岸、中南米、ガラバゴスへの遠征調査に参加され、海藻類の分類に関する研究をおこなわれた。また1946年からはビキニ環礁を含む南太平洋マーシャル諸島の生物相に関する調査にも参加された。1966年に名誉教授となられてからもカリブ海地方を中

心に多くの調査旅行を行い活発な研究活動をおこなわれた。先生は夏は60年以上にわたり、御夫人とともにマサチューセッツ州のウッズホールの別荘で過ごされ、近くにあるコッド岬の臨海実験所で海藻類の研究をされるとともに海産植物に関する夏期講座で教えられた。先生はその海藻類の分類学及び植物地理学における貢献から米国科学アカデミーの藻類学部門の G.M. Smith Gold Medal, スウェーデン王立自然地理学会の Retzius Medal, アメリカ植物学会の Merit Award などを受賞しておられる。また、アメリカ藻類学会の創立に携わられるとともに、1947年から2代目の会長をつとめられ、また1956年にはアメリカ植物学会の副会長をつとめられた。先生の研究業績は140編の論文と Plants of Bikini (1950), Marine Algae of the Northern Coast of North America (1937, 1957), Marine Algae of the Eastern Tropical and Subtropical Coasts of the Americas (1960) などを含む数冊の大冊の著作がある。

筆者は1981年冬に故黒木宗尚先生のお供をして、デトロイト郊外のアンアーバーを訪れテイラー先生とその後任者であるウィン (Michael J. Wynne) 教授にお会いした。先生はもうすでに80才をだいぶ越える御高齢ではあったが、非常にお元気で大学の御自分の研究室にもしばしばおいでになって研究を続けておられた。先生の研究室の机の上には何十年と使ってきた顕微鏡があり、前の壁には「大洋」という色紙が飾ってあった。先生の御考案でしかも自作されたという、さく葉標本を立てる V 字型の台は非常に便利で、いつかまねて作らせていただくと思って写真に収めてきたがまだ実現できないでいる。われわれがアンアーバーの前にウッズホールを訪ねてきたことをお知りになると非常に喜ばれ、先生の夏の別荘や付近の海藻の話をしてくださった。この地域で最近ミルが大量に打ち上げられて問題になっている話をされ、翌日にはその記事の載った新聞を探し出してきてわれわれに見せてくださった。テイラー先生は旧知の黒木先生の訪問を本当に喜んでおられたようで、ご自宅にも招いてくださり、自らマティーニを作ってご馳走してくださった。この訪問のことは黒木先生にとっても非常に楽

しい思い出であったようで、ことにこのマティーニのことはその後何度もなつかしそうに話しておられた。その後ついにもう一度お目にかかることはできなかったが、こちらから差し上げたお便りの返事を何度か頂戴し、そのなかでテイラー先生は最近の環境破壊の問題を憂えておられた。先生は数年前から持病の心臓病が悪化され、1987年にはペースメーカーを入れる手術をされた。その結果だいぶ回復されたよ

うで、90才の御誕生日のお祝いに差し上げた便りにもご自分でタイプされた御返事をいただいた。しかしその後やはり御高齢には勝てずベッドで過ごされることが多かったと聞く。そして先日ウィン教授からこの悲しい知らせをいただいた。ランドルフ・テイラー先生のご冥福を心からお祈りします。(写真はウィン教授の撮影) (060 札幌市北区北10条西8丁目 北大理学部植物学教室)

藪 熙：時田 卯先生の御逝去を悼む

Hiroshi Yabu: Jun Tokida (1903-1990) in memoriam



北海道大学名誉教授時田 卯 先生は平成2年11月29日午後7時12分心不全のため、鎌倉市において逝去されました。享年87才でした。11月30日午後6時から前夜式が、12月1日午後2時から告別式が、鎌倉市御成町にあるカドキホールに於いて取り行われ、次いで午後5時からは場所を移して御遺族の計らいで、時田先生と生前親しかった方達が集まられて先生を偲ぶ会が催されました。

先生は明治36年8月17日神奈川県横浜市でお生まれになり、神奈川県立横浜第一中学校、北海道帝国大学豫科を経て、昭和2年3月北海道帝国大学農学部農業生物学科を卒業されました。

昭和3年4月には北海道帝国大学付属水産専門部講師、同4年11月同専門部の教授、昭和10年4月函館高等水産学校教授、昭和15年5月北海道帝国大学助教授となられ昭和20年6月教授に昇進、昭和28年12月から昭和30年12月にかけて北大水産学部長を勤められ、その他、北海道大学評議員、北海道大学水産学部学生部分室長等の要職につかれるなど大学運営の枢機に参画されました。そして、昭和42年定年退官、同年北海道

大学名誉教授の称号を授与されました。

先生の恩師は札幌農学校第2期生文化勲章受賞者の宮部金吾先生で、農学部の3年生のときには『南樺太の海藻』を卒業論文として纏められ、その後継続して南樺太の海藻の分類、分布、生態について鋭意研究され、昭和20年にはそれらの成果を取り纏め『The Marine Algae of Southern Saghalien』という題名で学位論文を完成し農学博士の学位を授与されました。

昭和17年から20年にかけては北海道沿岸域における繊維資源海藻の分類、生態、並びに利用に関する研究に従事されました。その後、北海道産コンブ科植物について幅広い調査研究を行い、重要な基礎的資料を提供されました。更に、磯焼け現象の原因となる無節石灰藻類の分類学的、生態学的研究を精力的に行われ水産に多大の貢献をされております。そして、それらの成果は後に続く藻類研究者に多大の影響を与えられました。

先生は日本藻類学会では設立に際して発起人の一人として盡力され、評議員等として学会の発展に貢献され、昭和41年から43年にかけて会長を勤められ、その功績によって、昭和51年、名誉会員に推薦されました。

その他、先生の学会に関する活躍としては、植物学会、日本水産学会、国際藻類学会等の学会に参加され、日本水産学会では評議員或いは北海道支部長として運営に協力され、昭和55年、名誉会員になられております。

先生は温厚かつ真摯な態度で私共に接しられ、又、優れた指導力と常にたゆまぬ情熱と懇切な教育法をもって教壇に立たれ、多くの子弟の育成に当たられました。

先生はクラーク博士、内村艦三、宮部金吾、新戸部稲造等諸先生の流れを汲む札幌独立教会々員で、昭和21年から58年にかけての37年間、同教会主管者、58年より現在に至るまで同名誉主管者となられております。

これら永年に亘る大学の運営、学問上への業績並びに社会への貢献により昭和50年4月勲二等旭日重光賞を授与されました。

最後に時田先生の主要な業績を記し、心から御冥福をお祈り致します。

(041 函館市港町3-1-1 北海道大学水産学部水産植物学教室)

主要業績目録

著書

臨海実習法・海藻（生物学実験法講座）. 中山書店（1955）.

訳書

On the Laminariaceae of Hokkaido by K. Miyabe, 1902.

Eng. ed. Jour. Sapporo Agr. Coll., 1: 1-50 (1956).

編集

Advance of Phycology in Japan. Gustav Fischer, Jena. (with H. Hirose) (1966).

研究

1. On two species of Sphacelariales new to Japan. Transact. Sapporo Nat. Hist. Soc. 11: 215-220 (1931).
2. The marine algae from Robben Island (Kaihyo-to), Saghalien Bull. Sci. Fish., Hokkaido. Imp. Univ. 2: 1-34 (1932).
3. On two new species of *Antithamnion* from Japan. Transact. Sapporo Nat. Hist. Soc. 12: 105-113 (1932).
4. *Rhodophyllis capillaris* sp. nov. and some other red algae on an Athecate Hydroid. Jour. Fish. 35: 12-15 (1932).
5. 札幌市内魚市場にて見い出せる二. 三紅藻. 水産学雑誌 35: 16-18 (1932).
6. 南樺太産海藻調査報告. 博物館教育（樺太庁博物館）2: 20-59 (1933).
7. Phycological observations I. Transact. Sapporo Nat. Hist. Soc. 13: 196-202 (1934).
8. The marine algae from Robben Island, Saghalien. (A suppl. rept.). Bull. Sci. Fish., Hokkaido. Imp. Univ. 4: 16-26 (1934).
9. Phycological observations II. Transact. Sapporo Nat. Hist. Soc. 14: 111-114 (1935).
10. 樺太産海藻の分類並に植物地理学的研究. 服部報公会研究抄録 2: 248-252 (1936).
11. Phycological observations III. Transact. Sapporo Nat. Hist. Soc. 15: 60-66 (1937).
12. 有珠湾のあまのり養殖に就て. 北海之水産 91: 11-20 (1937).
13. 銀杏草の学名に就て. 北海之水産 101: 2-7 (1938).
14. Phycological observations IV. Transact. Sapporo Nat. Hist. Soc. 15: 212-222 (1938).
15. 二三海藻に関する知見, 殊に邦産コケモドキ属に就て. 植物及動物 7: 522-530 (1939).
16. 海藻培養液“Erdschreiberlösung”に就て. 植物及動物 7: 777 (1939).
17. ミクロネシア産海藻目録. 科学南洋 2: 16-26 (1939).
18. 緑藻アオサ科植物の生活史に関する研究. 植物及動物 7: 1247-1256 (1939).
19. 台湾アミ族食用海藻. 植物及動物 7: 1547-1552 (1939).
20. 北海道釧路沖に *Nereocystis* 漂流す. 植物及動物 7: 1920-1921 (1939).
21. 二三海藻に関する知見 (2). 植物及動物 9: 49-56 (1941).
22. 英国産「あまのり」の生活史. 北海之水産 139: 30-33 (1941).
23. 樺太遠淵湖産海藻目録. 植物及動物 9: 427-432. 近江彦栄と共著 (1941).
24. Phycological observations V. Transact. Sapporo Nat. Hist. Soc. 17: 82-95 (1942).
25. 藻類のビタミンに就て. 植物及動物 11: 140-146 (1943).
26. On the so-called *Dilsea edulis* of Japan. Bot. Mag. Tokyo 57: 93-97 (1943).
27. 後志支庁管内加里並臭素資源海藻調査報告 (18年度). 北水試月報 1: 152-156. 山田幸男と共著 (1944).
28. カシワバコノハノリに告示せるカシワバコノハモドキ (新称) に就て. 日本水産学会誌 12: 212-215 (1944).
29. 軍需纖維資源海藻の種類生態並に利用 (其の一). 北水試月報 2: 48-56 (1945).
30. 軍需纖維資源海藻の種類生態並に利用 (其の二). 北水試月報 2: 68-84 (1945).
31. スガモ, アマモの荒廃に関する考察. 北水試月報 3: 32-37 (1946).
32. 藻色の色素. 生物 1: 233-241 (1946).
33. 加里臭素資源海藻調査. 水産調査報告 45: 1-32. 木下虎一郎外と共著 (1947).

34. 初山別村地先浅海底調査報告. 北水試月報 3: 195-197. 今井晴一と共著 (1947).
35. Notes on some new or little known marine algae (1). Jour. Jap. Bot. 21: 127-130 (1947).
36. Notes on some new or little known marine algae (2). Jour. Jap. Bot. 22: 37-40 (1948).
37. 糊料紅葉アカバ緑斑病と病原緑藻. 北水試月報 5: 14-17. 正置富太郎と共著 (1948).
38. Notes on some new or little known marine algae (3). Jour. Jap. Bot. 22: 100-106 (1948).
39. フクロノリの黒星病 (予報). 北水試月報 5: 8-10 (1948).
40. Swollen-head disease of *Sphacelaria* and swollen-foot disease of *Spongomorpha*. Bot. Mag. Tokyo 61: 113-116 (1948).
41. Black-dot disease of *Gloipeltis furcata* Post. et. Rupr. caused by a new Ascomycetous fungus. Bot. Mag. Tokyo 61: 116-118. (with K. Miyabe) (1948).
42. Notes on some new or little known marine algae (4). Jour. Jap. Bot. 23: 69-71 (1949).
43. Contributions to the knowledge of the Pacific species of *Antithamnion* and related algae. Pac. Sci. 4: 118-134. (with T. Inaba) (1950).
44. 海藻と妖度. 水産の科学 4: 1-6 (1950).
45. Notes on some new or little known marine algae (5). Jour. Jap. Bot. 25: 149-152 (1950).
46. Notes on some new or little known marine algae (6). Jour. Jap. Bot. 26: 167-172 (1951).
47. The La Perouse Strait as a boundary of the distribution of marine algae. 7th Pac. Sci. Congr. 5: 1-4 (1953).
48. イワズタとサボテングサの遊走細胞. 藻類 1: 28-29 (1953).
49. 褐藻エゾヤハズの根様糸に就いて. 北海道大学水産学部研究い報 4: 149-156. 正置富太郎・藪熙と共著 (1953).
50. The marine algae of southern Saghalien. Mem. Fac. Fish., Hokkaido Univ. 2: 1-264 (1954).
51. コンブの珍しい奇形. 採集と飼育 18: 118-119. 近江彦栄と共著 (1956).
52. Studies on the reproductive organs of red algae II. On *Frythrophyllum gmelini* (Grun.) Yendo. Bull. Fac. Fish., Hokkaido Univ., 7: 63-71. (with T. Masaki) (1956).
53. 葉が螺旋状にねじれた奇形コンブ. 北水試月報 13: 26-29. 近江彦栄・正置富太郎と共著 (1956).
54. 日本海北部から報告された褐藻の一新属. 藻類 4: 60-61 (1956).
55. チガイソウの茎に密生したコンブ. 北水試月報 14: 41-42. 大岩保明と共著 (1957).
56. 紅藻エゾナメシの雌性器官. 藻類 5: 5-7. 正置富太郎と共著 (1957).
57. Some observations on *Laminaria* gametophytes and sporophytes. Abstr. 9th Pac. Sci. Congr., p. 53. (with H. Yabu) (1958).
58. A Chimaera of *Alaria* and *Laminaria* found in nature. Nature 181: 923-924. (with H. Ohmi and M. Imashima) (1958).
59. 海藻の癌腫. 藻類 6: 93-99 (1958).
60. Studies on the Melobesioideae of Japan I. Bull. Fac. Fish., Hokkaido Univ. 10: 83-86. (with T. Masaki) (1959).
61. Studies on the reproductive organs of red algae III. On the structures and development of female organs in *Schizymenia dubyi*, *Gymnogongrus flabelliformis*, and *Rhodymenia pertusa*. Bull. Fac. Fish., Hokkaido Univ. 10: 87-96. (with T. Masaki) (1959).
62. A list of marine algae collected in the vicinity of Oshoro Marine Biological Station, at Oshoro. Hokkaido, Japan. Bull. Fac. Fish., Hokkaido Univ. 10: 173-195. (with T. Masaki) (1959).
63. Studies on the Melobesioideae of Japan II. Bull. Fac. Fish., Hokkaido Univ. 10: 285-290. (with T. Masaki) (1960).
64. コンブ類に着生する動植物について (I). 藻類 8: 15-21. 山俊一と共著 (1960).
65. Nuclear and cell division in zoospore formation of *Ulva pertusa*. Bot. Mag. Tokyo 73: 182-185. (with H. Yabu) (1960).
66. コンブ類に着生する動植物について (II). 藻類 8: 47-53. 山俊一と共著 (1960).
67. コンブ類の種類鑑別に役立つ呈色反応について. 藻類 8: 74-75 (1960).
68. Further studies on *Cirrurcarpus gmelini* (Grunow) Tokida et Masaki. Bull. Fac. Fish., Hokkaido Univ. 11: 29-36. (with R. E. Norris and T. Masaki) (1960).
69. Studies on the Melobesioideae of Japan III. Bull. Fac. Fish., Hokkaido Univ. 11: 37-42. (with T. Masaki) (1960).

70. Marine algae epiphytic on Laminariales plants. Bull. Fac. Fish., Hokkaido Univ. 11: 73-105 (1960).
71. On the occurrence in Japan of a crustaceous coralline, *Polyporolithon*. Bot. Mag. Tokyo 73: 497. (with T. Masaki) (1960).
72. Studies on the Melobesioideae of Japan IV. Bull. Fac. Fish., Hokkaido Univ. 11: 188-189. (with T. Masaki) (1961).
73. コンクリート・ノリ礁の管理について. 水産増殖 9: 79-86. 正置富太郎・坪川慎二と共著 (1961).
74. コンブ延縄式養殖法について. 新潮 147: 12-13 (1961).
75. Studies on the Melobesioideae of Japan V. Bull. Fac. Fish., Hokkaido Univ. 12: 161-165. (with T. Masaki) (1961).
76. 大形海藻標本の作り方. 藻類 10: 27-29 (1962).
77. ブルウキモの漂着. 藻類 10: 92-95 (1962).
78. 東南アジアの寒天原藻. 藻類 11: 24-30 金子孝と共著 (1963).
79. Studies on the Melobesioideae of Japan VI. Bull. Fac. Fish., Hokkaido Univ. 14: 1-6. (with T. Masaki) (1963).
80. コンブ類に着生する動植物について (III). 藻類 11: 92-97. 近江彦栄と共著 (1963).
81. On the nuclear division in the sporangium of *Arthrothamnus bifidus* (Gmel.) J. Ag. Bull. Fac. Fish., Hokkaido Univ. 14: 37-39. (with H. Yabu) (1963).
82. Mitosis in *Porphyra*. Bull. Fac. Fish., Hokkaido Univ. 14: 131-136. (with H. Yabu) (1963).
83. Syntagmatic germination of tetraspores in *Pachymeniopsis yendoi*. Phycologia 5: 15-21. (with H. Yamonoto) (1963).
84. *Durvillea* ナンカイコンブ属 (新称). 藻類 13: 17-21 (1963).
85. Application of aceto-iron-haematoxylin-chloral hydrate method to chromosome staining in marine algae. Bot. Mag. Tokyo 79: 381. (with H. Yabu) (1966).